

獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議  
(第10回)

2010年11月17日

机上配付資料

- ① 獣医学教育改善の道筋 (2010.11.17 唐木私案)
- ② 共用試験について
- ③ 専門職大学院の認証評価について

## 獣医学教育改善の道筋

2010.11.17 唐木私案

### <目 標>

社会的要請に応えられ、先進国の水準に達し\*、ライフイノベーションに対応できる獣医学教育の実施と、そのための獣医学部の設置

\*例えば米国獣医学ア krediyteshon合格レベル

### <改善項目と手段>

- 教育内容 ・コアカリキュラム ・共用試験 ・進級/卒業制度 ・国家試験基準
- 教育システム ・教員数 ・学生対教員比 ・施設/設備 ・動物病院 ・その他
- 外部評価 ・評価基準 ・設置基準 ・評価を改善に反映させる仕組み

### <改善の段階>

- 第3段階 目標に到達 ○年以内  
外部評価による推進 ↑ 基準の100%達成
- 第2段階 自主努力・共同学部の設置等による改善 ○年以内  
外部評価による推進 ↑ 基準の○%達成
- 第1段階 自主努力・共同教育課程の設置等による改善 ○年以内  
外部評価による推進 ↑ 基準の○%達成
- 現状 教育内容、システム、評価制度のすべてが不十分

### <解決すべき主な問題>

- 獣医学関係者の合意/関係大学と地域と社会の同意/政治の主導
- 教育改善と入学定員増の問題
- 改善の期限設定と未改善校の取り扱い (未改善校が退場する仕組み)
- 外部評価結果と国試受験資格のリンク

各分野の共用試験に関する比較

	医学	歯学	薬学
目的	学生が臨床実習を始める前に備えるべき必要最低限の総合的知識及び基本的診療技能と態度を評価。	同左	実務実習を行うに必要かつ十分な基礎的知識や技能・態度が備えられているかどうかを評価し、保証。
経緯	平成14年 共用試験試行開始 平成17年12月 共用試験正式実施	同左	平成18年4月 薬学共用試験OSCEの試行開始 平成19年1月 CBT試行開始 平成21年12月 薬学共用試験の正式実施
実施主体	(社)医療系大学間共用試験実施評価機構 (平成17年3月設立)	同左	NPO法人 薬学共用試験センター (平成18年10月設立)
実施経費	(社)医療系大学間共用試験実施評価機構 平成21年度支出合計額 …562百万円 (主な収入源: 会員大学の年会費(医: 1,514千円、歯: 2,106千円)、受験料)	同左	NPO法人薬学共用試験センター 平成21年度支出合計額 …386百万円 (主な収入源: 会員大学の年会費(500千円)、受験料)
受験料	28,000円/人	同左	25,000円/人
参加大学数	80大学(全大学)	29大学(全大学)	66大学67学部(未参加の7大学は学年進行中のため受験年次に未到達)
受験者数	平成21年度(前期・後期計) CBT : 7,782人 OSCE: 7,773人	平成21年度(前期・後期計) CBT : 2,421人 OSCE: 2,145人	平成21年度(本試験・追試験) CBT : 9,402人 OSCE: 9,412人
試験実施時期	・学生が臨床実習を開始する前までに実施 ・年2回実施(前期開始の場合: 12~3月の間、後期開始の場合: 6~9月の間で各大学が設定)	同左	・5年次での実務実習を開始する前年度(4年次)に実施 ・本試験は12~1月、追・再試験は2/20~3/20の間で各大学が設定
試験内容	・CBT(コンピュータを用いた客観試験) 320問(単純5肢択一240問、多選択肢連問40問、順次解答連問40問)、6時間 (出題項目) 基本事項(4.2%) 医学一般(20.8%) 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療(37.5%) 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療(20.8%) 診療の基本(8.3%) 医学・医療と社会(8.3%) ・OSCE(客観的臨床能力試験) 医療面接(10分) 頭頸部診察(5分) 胸部診察(5分) 腹部診察(5分) 神経診察(5分) 外科的基本手技・救急(5分)	・CBT(コンピュータを用いた客観試験) 320問(5肢択一240問、多選択肢連問20問、順次解答連問60問)、6時間 (出題項目) 医の原則 歯科医師としての基本的な態度 社会と歯学(以上計10%) 生命科学(25%) 歯科生体材料・歯科材料(5%) 臨床歯学教育(60%) ・OSCE(客観的臨床能力試験) 初診面接(5分) 基本的診察及び検査能力(5分) 基本的技能(5分) 説明・指導(5分) 基本的臨床技能(I)(5分) 基本的臨床技能(II)(5分)	・CBT(コンピュータを用いた客観試験) 310問(5肢択一)、6時間 (出題分野) ヒューマン・インタラクション(10問) 物理系薬学(30問) 化学系薬学(40問) 生物系薬学(35問) 健康と環境(40問) 薬と疾病(105問) 薬学と社会(20問) 実務実習事前学習(30問) ・OSCE(客観的臨床能力試験) 5領域6課題について実地試験。1課題につき、閲覧時間1~2分、実技時間5分(領域) 患者・来局者対応 薬剤の調製(1)(2) 調剤鑑査 無菌操作の実践 情報の提供
合格基準	各大学における臨床実習での学生指導の在り方を考慮して各大学が責任をもって設定する (学生個人のCBT及びOSCEの成績結果と各大学で実施する個別の評価結果とを組み合わせることによって臨床実習開始前の総合的な評価が行われる)	同左	CBT: 正答率60%以上 (平成21年度到達率: 99.32%) OSCE: 課題ごとに、細目評価で評価者2名の平均点が70%以上、かつ概略評価で評価者2名の合計点が5以上で合格 (平成21年度到達率: 99.99%)  (薬学共用試験合格をもって学生の基礎的知識や技能・態度が基準に到達していることを保証)

※ 看護分野については、科学研究費補助金により、平成20年度から平成22年度の期間で、共用試験(CBT)の研究が行われている。

# 専門職大学院の認証評価について

- ① 専門職大学院は、教育課程や教員組織等の教育研究活動の状況について、文部科学大臣から認証を受けた認証評価団体の評価(5年以内ごと)を受けなければならない。  
(学校教育法第109条第3項、学校教育法施行令第40条)
- ② ただし、当該分野の認証評価団体が存在しない場合その他特別な事由がある場合は、次の何れかの措置を講じなければならない。
- ・ 文部科学大臣が指定した海外の評価団体において評価を受け、その結果を公表し文部科学大臣に報告
  - ・ 自己点検評価を行い当該大学以外の者による外部評価を受け、その結果を公表し文部科学大臣に報告
- (学校教育法第109条第3項、学校教育法施行規則第167条)

認証評価機関

分 野	認証評価機関	認証日
法科大学院	財団法人日弁連法務研究財団	平成16年 8月31日
	独立行政法人大学評価・学位授与機構	平成17年 1月14日
	財団法人大学基準協会	平成19年 2月16日
経営(経営管理、技術経営、ファイナンス、経営情報)	特定非営利活動法人 ABEST21 (THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW, a 21stcentury organization)	平成19年10月12日
会計	特定非営利活動法人国際会計教育協会	平成19年10月12日
経営(経営管理、会計、技術経営、ファイナンス)	財団法人大学基準協会	平成20年 4月 8日
助産	特定非営利活動法人日本助産評価機構	平成20年 4月 8日
臨床心理	財団法人日本臨床心理士資格認定協会	平成21年 9月 4日
教員養成(教職大学院、学校教育)	教員養成評価機構	平成22年 3月31日
公共政策	財団法人大学基準協会	平成22年 3月31日
情報、創造技術、組込技術、原子力	一般社団法人日本技術者教育認定機構 (JABEE)	平成22年 3月31日
ファッション・ビジネス	財団法人日本高等教育評価機構	平成22年 3月31日

◆ 認証評価団体が設立されている分野の認証評価の実績

分 野	専攻数	H18	H19	H20	H21
法科大学院	74	2	22	44	7
経営(ビジネス・MOT)	32	-	-	13	6
会計	17	-	-	6	7
助産	1	-	-	1	
臨床心理	5	-	-	-	1
教職大学院、学校教育	26	-	-	-	-
公共政策	8	-	-	-	-
情報、創造技術、組込技術、原子力	6	-	-	-	-
ファッション・ビジネス	2	-	-	-	-
計	171	2	22	64	21

※ H21の法科大学院には、2回目の受審校を1含む

◆ 認証評価団体が設立されていない分野

公衆衛生3専攻、知的財産3専攻、その他7専攻

計13専攻